

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<u>修士課程</u> 博士後期課程
専攻 / Major	<u>真宗学</u> 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) <u>留学生入試</u> 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッションポリシーをふまえ、以下の3点を確認する意図で出題した。①真宗学に関する基礎知識と文献読解力を有しているか。 ②真宗学のテキストをふまえた考察力を有しているか。 ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>問題は、「次の語句のうちから一つをえらんで、それについて日本語で詳しく述べなさい。」という設問で、「一 親鸞の念仏観」「二 親鸞の救済観」「三 親鸞の人間観」という三語を出題している。いずれも、親鸞が「浄土真宗」という言葉で顕す仏教について、その特徴を明確にする基本的事項である</p> <p>〈採点のポイント〉</p> <p>真宗学を専攻するにあたって、浄土真宗、親鸞の思想について基本的な知識を持ち理解しているか、それを適切に表現することができているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>修士課程において仏教学研究に取り組むために必要な基礎的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>複数の仏教用語のうち一つを選択させ、その意味を日本語で説明させるものである。仏教の基本的思想を正しく理解できているかどうか、自身の研究に結びつけて論理的に説明できているかどうかを採点のポイントとしている。</p>	

年度 / AY	模擬問題
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、修士課程で学んでゆくために必要な哲学に関する基礎的能力を有しているかを確認する意図で出題する</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>出題内容例は以下のとおりである。「観念論」「功利主義」といった簡単な語句群のなかから1つを選んで日本語で説明することを求める。</p> <p>採点のポイントは以下のとおりである。①哲学に関する基礎的事項を適切に説明できているか。②自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>仏教を中心とする宗教や歴史・文学について理解できているかを問う。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>日本・東洋・西洋の宗教・歴史・文学に関する用語を選択肢から一つ選び、説明させる問題。それぞれの用語についての説明が的確に正しい日本語で解説できているかが採点のポイントとなる。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<u>修士課程</u> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 <u>国際文化</u> 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) <u>留学生入試</u> 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下三点をはかる意図で出題した。①各専攻学問分野に関する基礎的知識と文献読解力を有しているか ②探究を深めることができる論理的な考察力を有しているか ③修士論文執筆に必要な読解力と表現力を有しているか</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>「あなたの研究テーマについて、「ことば」と「文化」という観点から、日本語で具体的に論じなさい」という出題であり、①自身の研究テーマを適確な日本語で明確かつ具体的に説明できるか、②与えられたテーマ（「ことば」と「文化」）と研究テーマとの関連を筋道立てて整理し表現できるか、③出題の意図を正確に理解した答案が作成できるか、といった観点から、研究者として必要な日本語の理解力、表現力、思考力、研究テーマへの関心と取り組みを評価・採点する。</p>	

年度 / AY	2022
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、教育学・心理学に関して基礎的な知識と理解を有しているかを評価する意図で出題した。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>〈出題内容〉</p> <p>問題 次の1～2の中から一つを選び、日本語で論述しなさい。</p> <p>1 あなたの国の義務教育制度の特徴を、日本の義務教育制度と対比させながら論じなさい。</p> <p>2 なぜ人は協力するのか、心理学的に論じなさい。</p> <p>〈採点のポイント〉</p> <p>教育学・心理学に関わる事項を適切な日本語で説明できているか。</p> <p>自身の考えを論理的な日本語で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<u>修士課程</u> <u>博士後期課程</u>
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 <u>全専攻共通</u>
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) <u>留学生入試</u> 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門 外国語 <u>日本語</u> 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer 著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p> <p>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</p> <p>教育目標を達成するために、大学院博士後期課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p>【出題の意図】</p> <p>本学大学院ではいくつもの学問分野の研究環境が整備されている。ただし、どの分野を専攻するにせよ、一定レベル以上の日本語能力を有していなければ、この研究環境を十全に活用することは難しい。研究に必要な一定レベル以上の日本語能力を備えているかどうかを確認せねばならない所以である。</p> <p>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</p> <p>問題1と問題2から構成されている。問題1は長文読解問題。問題2は語句・文法・慣用表現等を問う問題である。2024年度入試では、問題1は国際日本文化研究センター教授のフレデリック・クレインス氏によるコラム「薄味に魅了されて」（『京都新聞』2023年6月28日付 夕刊）を問題文とした。卑近な素材から文化の違いという普遍的な主題へと展開する文章である。長文読解問題とはいえ、内容把握だけでなく、漢字の読み書き、語句の補充、同音異義語等を問う問題も含まれる。問題1と問題2によって、日常会話からやや概念的な考察まで、一般的な日本語をなるべく広範囲にとりあげたいと考えている（もちろん、特定分野の学術的な用語は除外する）。なお、解答の形式はマークシートが中心である。</p>	